

番号	ジャンル	意見
1	策定にあたり	すべてをまとめたコンセプトや概要がわかるように、この計画で何をするのか明確に説明する。
2		京丹後市はまだ観光につなげるというところに焦点が当たってない、どこを特色にするか考える。
3		人口減少だとか新しい産業の創出だとか、空き家問題、そういったものも全部総括して、連携ができるような体制づくりが必要。
4		京丹後市の特徴や魅力をいかし、文化芸術の概念、考え方をしっかりと定めておいた方がいい。
5		結局10年かけてこのまちは、何を目指すのかというのがぼけた。
6		多文化共生って言葉は、議論でいっぱい出てきたのに、多国籍とか全部抜けてしまった。
7		京丹後は独特の外国人の比率になっているので、それを文化や芸術の観点から、プラスの方向に活かせるような事も中に取り入れてはどうか。
8		文化芸術振興計画は、かっちりと学術論文のように積み上げていかないと、根拠がない事になると思う。
9	文化芸術の範囲	芸術の範囲のとらえ方が違うので、広い範囲で芸術をとらえること。
10	本市の概況	社会の動向や表等が、国か府か市かわかりづらい、京丹後市の現状をしっかりと書いた方がいい。
11		SDGsも全国的にという事ですけども、もう少しコンパクトにされた方がいい。
12		施設の取り組みのあり方と現状と課題のあたりで、施設は施設でくくって整理した方がいい、関係団体の活動ももっと整理して。
13	アンケート	アンケート調査はアンケートでまとめた方がいい。
14		アンケート調査はデータを出し、公開し、読み解いていくためにとても重要なもの。
15	概要版	概要版の中では、重要なポイントをうまく取り出して、イラストとかまんがとかを使って、それを市民にわかりやすく説明してほしい。
16		具体案が概要版にでも載ってたら、なるほど具体的にこういう取り組みを市がしてくれるんだとわかりやすい。
17	基本理念	京丹後市の文化芸術のスローガンでこれだよねっていう、小学生からお年寄りまで言えるようなキャッチーなものや、ロゴが必要。
18	基本目標	情報発信をしっかりして、他の地域の人にってもらうことで、人と京丹後市をつなぐことが重要。

19	基本施策	施設をもっと使いやすいってようにするには何が必要かもっと考える必要がある。
20		文化芸術活動をしやすい状況が、これからも継続的にやっていける状況を作る。
21		基本方針4の「公共の施設を使いやすい整備します」に、拠点となる施設の整備が必要。
22		障害者の文化芸術だけ分けるのは、差別っぽくなる感じがする。
23		「そだてる」、「次世代」へがあるのに、子どもというキーワードとか、学校というキーワードが非常に少ない。
24		丹後織物協同組合さんが、丹後オープンセンターというような拠点を計画されているので、情報共有・連携が必要。
25		地域の民間の指導者さんにプロの指導の仕方を伝えることにより、プロの指導者を地域に育成できれば、地域全体の技術もあがっていく。
26		各施設の設備の管理・運営のスタッフを育成をする。
27		京丹後市に大学を卒業して帰ってくる人を増やすというところの観点から、その産業の部分ともものづくりっていうところでの関連性のある取り組みを。
28		アーティストが地域に滞在して作品を作ったり、移住したりする事等を考えると、アートマネージャーが必要。
29		無形の文化遺産であるパフォーマンスアーツ、舞台芸術というのは、無限の可能性がある。
30		すばらしい多様な自然景観があるので、パフォーマンスアーツをうまくコーディネートすれば、観光で地域が元気になる。
31		今は障害とかLGBTQとか1つの特徴としてキャラクターとしてとらえていくって方向になっている。
32		数値目標
33	推進体制	基本計画という政策に乗っ取って、きちり進行管理されているのか成果をあげているのかという事をチェックするのが、この審議会の役割になる。
34		具体的に誰がどこがどうやって取り組んでいくのか、どういう事をしていくんかという事を明記する。
35		3年くらいの短いスパンの施策、最初の3年はこういう事をやって、次の3年はというように、10年後の目標実現に向けて計画的に進める。
36		計画を作った後、進捗の評価だとか推進体制について、もう少し調査したり、研究したりして進めると計画により力をつけることができる。